

令和3年度徳富蘇峰「髪塚祭」のご案内

明治から昭和にかけてのジャーナリスト徳富蘇峰を偲び、毎年命日である11月2日に「髪塚祭」を開催しています。今年は下記要領で、ご案内申し上げます。

日時：令和3年 11月2日 (火) 11時～12:10時 (雨天中止)

会場：「髪塚」(霊樹院 敷地内)
熊本市 西区 島崎 7丁目-4-4

内容 (1) 挨拶 会長 近澤 真人	11:00～11:05
熊本市 文化財課	11:05～11:10
(2) 吟詠奉納 香雲堂吟詠会 瓜生田山櫻先生と社中	11:10～11:25
(3) 「髪塚」の思い出を語る。	11:30～12:10

*「髪塚」設立に貢献された、女史ご三方のそれぞれの曾孫さん、近澤 真人氏、瓜生田 山櫻女史、大橋 善治氏が集い、当時や蘇峰また曾祖母を偲べれます。

無料

【徳富蘇峰】

熊本県芦北郡水俣郷の郷土・徳富一敬の長男として文久3年(1863)に生まれた。熊本洋学校、同志社等に学び、民権私塾「大江義塾」を開き、「将来之日本」により文名を挙げ上京。明治20年に民友社を設立し、『国民之友』を主宰。明治23年『国民新聞』を創刊。ジャーナリストとして言論界で活躍した。大正7年(1918)から書き始めた『近世日本国民史』は、昭和27年(1952)まで55年間をかけて、全100巻を書き上げた。昭和32年11月2日、熱海市、晩晴草堂で、94年の生涯を終えた。



(徳富蘇峰：堅山南風画：熊本市徳富記念園所蔵)

【髪塚】

熊本市西区島崎霊樹院敷地内にあり、巨大な自然石の下に徳富蘇峰先生の髪が納められています。昭和25年(1950)蘇峰の米寿にあたり、公職追放中であつた先生を慰め励まそうと、吟詠家・瓜生田君子女史が、大橋万亀女史、近澤まさ女史等と計画したもので、これを聞いた先生は非常に喜び頭髪を贈りました。その後、碑が建立され、毎年、蘇峰命日の11月2日には髪塚祭が行われ、碑面の詩を吟唱して故人を追懐しています。



昨年の髪塚祭の主な参加者

【徳富蘇峰の会・熊本】

会長 近澤真人 副会長 瓜生田山櫻・船瀬道亮
顧問 中村青史(熊本県文化協会常務理事)・伊藤利明 (熊本高等専門学校教授)

主催 徳富蘇峰の会・熊本
協力 熊本市文化財課

共催 香雲堂吟詠会
後援 同志社校友会熊本県支部

問合先：徳富蘇峰の会・熊本 事務局 末次 (090-2852-4438)